

チームエッフェガーラ

宇都木 真 レースレポート

Festika Circuit

2012年3月4日

TOYOTA SL-KART MEETING FESTIKA Rd.1

YAMAHA スーパーSS

フレーム : birel RY30-S3
エンジン : YAMAHA KT100SD
タイヤ : プリチストン SL07
エンジニア : 加藤 真 (レーシングサービスエッフェガーラ)
メカニック : 立木 保 (チームエッフェガーラ)

◆レース結果
TT 6位
第一決勝 5位
第二決勝 4位

レースを前に

今年はオフの期間が短く、例年の冬場の走り込みとテストが出来ず、5K増のウエイトによるマシンの挙動の変化にも苦戦し初戦を向かえる事になる。一月ほど前からレースを見据えた練習に入るが、調子も思った様に上がらず、腰痛にも悩まされながらレース当日へ。

タイムトライアル

気温4度、路面温度10度以下と真冬並の条件下でのTT開始。ここ数年寒さは苦手としているところではあるが出来るだけ上位につけたいところ。しかし案の定アウトラップからタイヤを使えるところまで攻めきれず6位に沈む。

第一決勝

6番手アウトスタート。スタートはうまく決まりIコーナーを過ぎたところで4番手に浮上するも、ラップタイムの差はいかんともしがたく、多少粘りを見せたものの5位に後退、その後引離されてのゴール。タイヤのグリップ感は出て来たが、周りに比べ思う様にタイムアップせず。

第二決勝

1レース目に5位でゴールしたが、タイム順でまたもや6番手アウトスタート。ローリングから動きも良くなって来たので、早めに上がりたいところ・・・1コーナーではジャンプアップ成らず。2周目で1台をかわし前を追う展開に・・・グリップ感はあるが思ったよりラップタイムは上がらない。しかし平均タイムが良かったのか前との差が詰まる。11周目に前車の背中を捕え、4位に浮上しそのままゴール。

◆レースを終えて

今回は低調ではあるが順位を上げてのゴールは唯一の救いではある。しかし練習からマシンを自分のものに出来ず、何とかしようと追い込んで見たがイメージ道理とは行かず、そのままレースウィークに・・・やはり練習から手ごたえを感じるまで持って行けなかったのが敗因と言える。次はリベンジに向け、原点に戻り一からやり直しです。

加藤監督をはじめ・いつも専属メカをしてくれたタモさん・いつも応援に来てくれるチーム員の方々に・・・ありがとうございました。